

『御心のままに』 サムエル記第一 25章23～35節 2018.3.25(聖日礼拝説教より)

『高ぶりは破滅に先立ち、心の高慢は倒れに先立つ。…人は自分の行いがことごとく純粋だと思う。…あなたのしようとすることを主にゆだねよ。そうすれば、あなたの計画はゆるがない。』 箴言 16章18、2～3節

神に選ばれた少年ダビデは、油注がれて間もなくゴリヤテに勝利！しかし、あれほどの神への絶対的な信頼と臨在の確信があったダビデですら時に御心から逸れて、神に裁かれ、悔い改めつつ成長する！

①感情的な行動には、冷静な判断を！(サムエル 25:2～38)…横暴なナバルの侮辱を受けた時、ダビデは怒りに我を忘れて報復へ！その危機を知ったナバルの妻アビガイルは、沢山の贈物をもってダビデの前に土下座する(25:24～31)！主を畏れ、謙虚で穏やかなその態度、聡明で、誠意に満ちたその言葉に、ダビデは我に返り、怒りを収め、忠告に素直に聞き従った(25:32～34)！神は、アビガイルに賢く冷静な知恵を与え、ダビデに働きかけて、二人を最悪の事態から守られた！★私たちが感情的になり、幼稚で愚かな言動が出そうな時、神は必ず、誰かを通し、御言葉を通し、祈りを通して、冷静な判断へ導こうとされる！人は感情的になる時、たいてい高慢(自分の思いを優先)になっている！「あるがまま」の自分から、「わがまま」を取れば、『御心のまま』が残る！これがわかる人は幸い！

②主の権威への恐れ！(Ⅰサムエル 26:1～25)…サウルに命を狙われ逃げていたダビデは、ある日、油断して無防備なサウルと遭遇。部下はすぐにサウルを殺そうと言うが、ダビデが制止。『私が、主に油そそがれた方に手を下すなど、主の前に絶対にできない(26:11)』！ダビデは、神の絶対的権威の前に謙り、恐れと感謝を忘れなかった！神に、えこひいきはない！自分が選び、任命した人でも、罪を犯せば徹底して裁く！しかし、きちんと罪を悔い改めた者には、即赦しを与え、祝福を回復される！王座について徹底的に謙って感謝した(Ⅱサムエル 7:18～19)。

★人は簡単に傲慢になり、神の前で自分を正当化し、人を裁く！しかし『心の高慢は倒れに先立つ(箴言 16:18)』！神の絶対的な権威(御心)の前にへりくだり、砕かれた心は、祝福と平和を作り出す！その人は、いつも柔らかな態度と穏やかな心で、感謝を忘れない！これこそ、神の子に願われている大切な資質！最も必要とされる資質なのである！